

市内団体での産業振興に関する自由意見ヒアリング結果

- ①なまず特産品販売会(8/7)
- ②東埼玉テクノポリス青年部会(8/9)
- ③工専工業会幹事会(8/22)

1. 産業に関する課題

(1) 市全体の課題

- 吉川駅前に商店街がない。
- 市議会でも商業に関する質問が出てこないのがさみしい。このままでは市内から商業無くなる。
- 人情がない。商店と学校との関係にしても、昔は学校行事を商店が手伝い、学校も近所の商店で買い物をしてくれた。持ちつ持たれつの関係。
- イベント月(彼岸、盆など)が無くなってきたため、商戦・書き入れ時がない。
- 吉川市の商人は向上心がない。(不動産収入でやっていける商人多い?)
- 工業用地がない。空き地があるのに活用ができていないのはデメリット
- 吉川駅周辺の開発がされていない。近隣を見ると、どの駅前も商業施設があって発展している。一方、吉川駅前はパチンコと駐車場しかない。買い物となると、多くの市民が三郷や越谷の商業施設を利用しているのではないか。内需が拾えていない。
- 吉川市は特色がない。ベッドタウンとしての宅地整備は結果が出ているが、これから工業を進めるのか、農業を進めるのかは大きな岐路。
- 宣伝下手。吉川のお米の質は高いと思う。もっと宣伝すべき。
- これまでの歴史で、あまりに農業が主になっている。方向転換も必要。
- 吉川市はインターネットで検索にかけても情報があまり引っかけからない。情報がないと人は集まらない。自分は、「子育てしやすい街」として評判のあった流山市に住居を選んだ。
- 吉川市の印象として、保守的で閉鎖的な雰囲気を感じる。地元の人同士の仲は良いと思うが、外との垣根を取り除かないと変化は起こらないと思う。

(2) 自身が携わる事業に関する課題

- ラッピーランドの運営は、現状人件費が圧迫している。
- 立派なアンテナショップが欲しい。ラッピーランドの現状のプレハブは狭く、たくさんの商品が置けず、限界にきている。

資料3

- 昔は市役所と商工会とが一緒に事業をしている感じだったが、今は市役所と商工会がバラバラに事業をしている感じ。
- 新規の工業用地の取得は農地からの転換を待ってられない。ビジネスのスピードと合わない。農地の中には、高齢化による耕作放棄地も多いのではないかな。何とか工業用に使えないかな。
- 事業所の移転を考えている企業は、どこも郊外に土地を探している。現在は、圏央道の周辺に移転するのがトレンドとなっており、都内から吉川を飛び越えて移転している。
- 春日部在住の自分にとって吉川は「働きに来る」場所。回りを見ても、吉川市内から通勤している人は少なく、野田や春日部から来ている人が多い印象。
- 就職は売り手市場。応募を行うと、近場では、越谷市の東部などで吉川市をよく認知している人の応募が目につく。それ以外では春日部以北、久喜市等からの応募もある。
- 吉川の市街地からテクノポリスに来る人はいない。中間の田園地域（川藤、南広島）で町が途切れている印象。
- 吉川市は知名度が低く、印象が薄いため、相手先にも説明がしにくい（三郷ジャンクションの近く、越谷レイクタウンの隣、せんべいで有名な草加のあたり・・・）。吉川市が一般的に十分な認知を得ていないことが、働く人が集まりにくい一因ではないだろうか。
- 市内、特にテクノポリスで働くには車ありきで、駅からの利便性に課題あり。（車を持っていない若い人の）就職先として選ばれないのではないかな。
- 社内の外注先を見ると、市外への発注が多い。市内でのネットワークを作りたい。
- 小松川地域は民間の工場が集まった結果、開発が進んでいった地域。道幅や街灯の配置はあべこべであり、周辺に住宅地もある。本来は逆で、住工混在が起らないよう、工業地域としての環境整備が先にあるべきと考える。

2. 吉川市が進むべき方向、あるべき姿について

- 「なまず特産品」改め「地域ブランド」でいくべき。なまず以外の特産品の発掘・PRも必要。
- 地場産品の強化が必要。
- 今はかなり「なまず」が市民に認知されている。「なまず」を前面に出したイベントの企画・開催を進めるほうがよい。例えば、こいのぼりではなく、なまずのぼり、など。
- 市全体として「なまずの里」の取り組みが中途半端。一体的な町づくりを。駅を降りたら一目でなまずの町とわかるようにする、レイクタウンの渋滞の車中

資料3

からでもわかるように、例えば街灯フラッグなどを準備。

- 吉川市の立地を考慮すると企業誘致はできるのではないか。サービス業、特に運送業の誘致。
- さくら通りを中心として、川をきれいに、町をきれいにすると観光の面でもよいと思う。
- 産業誘致であれば、商業施設は近隣にあるため、大学病院等がよいと思う。
- 住環境を守るため、混雑を生む開発は避けてほしい。
- 住むにはよい地域。ベッドタウンとしては現状維持がよい。
- 川沿いの旧市街は海や川と陸を結ぶ土地であったことを物語っている。中川の舟運の活用もう一度考えてみるのはどうか。
- 自然が残っていることが吉川市のアドバンテージ。都市化されていない田園風景は無くなりつつある。開発ではなく、保全も必要。さくら並木も車で通ってみるだけではもったいない。花見ができるような整備を進めるとよい。
- 何もないと思っていても、他と比べて良いところもあるはず。良いところは、IT活用も踏まえて対外的に積極発信をすべき。何らかの差別手段がないとこのまま埋もれてしまう。
- 越谷のレイクタウンと三郷のららぽーと、この集客を利用し、吉川に寄ってもらう仕掛けが必要と思う。なまずに加えてもう一つ資源が必要。
- 八坂祭りは外に発信できるイベントと思う。まずは人を呼ばないといけない。
- 川と自然があり、都心から1時間というのは吉川市の強み。自然を残し、活用する産業振興が望ましい。
- 10年後を考えた開発であれば、自然と住居の保全を考慮した工業用地の設定をお願いしたい。それが、人が集まり、住みたいと思わせる町につながり、内需の拡大にもつながると思う。
- 吉川市が「チャレンジできる」場所になるとよいと思う。吉川を足がかりにしてもらうのもよいので、チャレンジする人への補助が望まれる。